

「横浜市中期計画 2026～2029」の公表について

1 趣旨

今後 4 年間の横浜市政の指針となる「横浜市中期計画 2026～2029」（以下「本計画」という。）は、6 月 5 日に横浜市会において議決されました。※ 1

本計画の策定に当たっては、横浜市町内会連合会及び各区区連会の皆様に、市民意見募集やパブリックコメントをはじめ、多大なる御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、本計画の冊子及び概要版を横浜市ホームページで公表しました。

本計画は、「市民の実感」で政策の成果を測り、データに基づく検証・改善を重ねることで、市民生活の向上を図ることを目指しています。

本計画に掲げた戦略や政策等を皆様と共有し、連携しながら、共に目指す都市像「明日をひらく都市」の実現に取り組んでまいります。

本計画の周知に御協力のほど、何卒お願い申し上げます。

※ 1 附帯意見を付して議決

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 公表資料

単位会長あてに概要版パンフレットを送付します。詳細は別添をご参照ください。

また、確定版冊子の販売及び概要版パンフレットの配布は以下のスケジュールで予定しています。

	確定版冊子（有償販売）	概要版パンフレット
7 月 2 日	市ウェブページ※ ² で公表済み	市ウェブページ※ ² で公表済み
7 月区連会	－	単位会長あて送付
7 月中下旬	－	配布開始予定 （市民情報センター、区役所等）
8 月頃	販売開始予定 （価格、時期など決まり次第、市ウェブページ※ ² で公表します）	－

※ 2 市ウェブページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2026-2029/chuki2026-.html>



政策経営・国際戦略局経営戦略課
担当 山口、岡田
電話 045-671-2010 /FAX 045-663-4613
メール ss-keiseisenryaku@city.yokohama.lg.jp



横浜市中期計画 2026-2029

【概要版】

City of YOKOHAMA

横浜の未来

— 都市像「明日をひらく都市」へ(2040年頃の横浜のありたい姿)—

都市像「明日をひらく都市」は、2040年頃の横浜のありたい姿をあらわしています。「横浜市中期計画2026-2029」においても、「明日をひらく都市」を2040年頃の横浜のありたい姿として継承します。そして、横浜に関わる全ての皆様と、共に未来を切り拓いていくための共通の大方針として、引き続き共有、活用していきます。

共にめざす都市像

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
2040 YOKOHAMA

社会の変化が早く、先を見通しにくい時代になっている今こそ、
都市や暮らしの在り方をもう一度、皆さんと共有し直す必要があります。

私たちのまち横浜は、150年以上前から先人たちが未来を切り拓いてきた、挑戦の地です。

ありたい姿を追求し、皆さんと共に力をあわせて、つくってきた今の横浜。

これから、私たちが、この困難な時代を乗り越えて、子どもたちに、
未来につないでいかなければなりません。

横浜は、全ての人の「明日をひらく都市」であり続けたい。

様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市。

多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市。

たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市。

多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市。

自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市。

横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市。

横浜に関わる、全ての人が前を向き、希望にみちあふれた毎日を送れる、
世界のどこにもない都市を共につくりましょう。

明日に向けた一人ひとりの行動が、新しい横浜をつくっていきます。

※「明日をひらく都市」は、変化が激しく先行きが見通しにくい不確実な社会にあって、「横浜市中期計画2022-2025」の策定を機に、法令等に留意し、4年ごとに策定する中期計画の指針にするという考え方に立って策定した都市像です。横浜市は、あらゆる機会を捉えてこの指針を内外に発信・共有し、横浜に関わる多様な人・企業・団体の皆様と共に未来を切り拓いていくための共通の大きな考え方として活用してきました。

※「明日をひらく都市」は、社会の変化に対応しながら持続可能で包摂的な都市を目指す方向性として示したもので、横浜市基本構想(2006(平成18)年策定)を踏まえて策定しています。「明日をひらく都市」を本計画でも継承していくとする考えのもと、横浜市基本構想を今後も継承していきます。

計画の考え方

【 計画の位置付けと策定経過 】

「横浜市中期計画2026-2029(以下「本計画」という。)」は、2040年頃の横浜のありたい姿として、都市像「明日をひらく都市」を継承し、現状の課題解決に取り組みながら、「市民生活の安心・安全」と「横浜の持続的な成長・発展」を目指す、横浜市の新たな中期計画です。

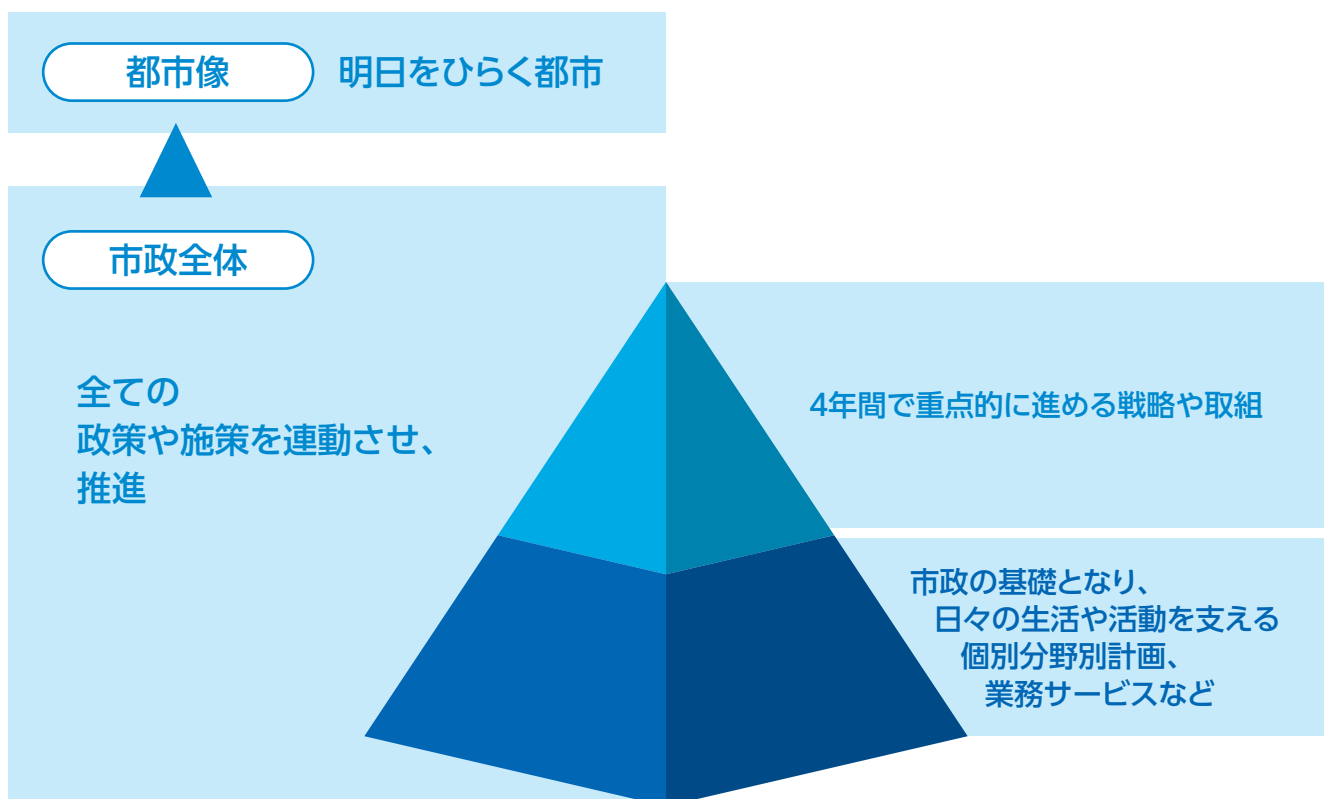
【 本計画の特徴 】

本計画は、現在と未来の両方の視点で都市の将来像と施策を捉え、「都市像」、「戦略」、「政策」、「施策」の体系化や、計画で予算を固定せず、行政・財政を変革させながら最適な事業を追求するとして前計画の考え方を継承しています。

加えて、より戦略的・体系的な計画へと高め、市民の皆様の実感を評価の軸に置いて、目標に向けて柔軟に必要な取組や手段を選択し、実践していくスキームとし、市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握しながら、その向上等を目指して、4年間で重点的に進める戦略や取組を中心に記載しています。

【 市政の基調と目指す都市 】

平和や人権の尊重を市政の基調に据え、本計画を4年間の重要方針とし、個別分野別計画など横浜市が進める全ての政策や施策と連動させることにより、市民の皆様やこれから横浜を共に育む仲間となる皆様が、明るく元気に自分らしく生きることができ、横浜での暮らしや活動に価値を実感できる、そして世界に誇れる都市を目指していきます。



戦略

本計画では、戦略として、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を掲げ、現状の課題解決に取り組みながら、未来につなぐ政策を推進し、「明日をひらく都市」の実現に取り組めます。



市民生活の安心・安全

あらゆる世代・多様な市民の皆様が
安心・安全を基本に、
自分らしくいきいきと暮らすことのできる
「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

×

横浜の持続的な成長・発展

世界をリードする都市として
持続的に成長・発展することで
未来に希望を抱くことができる
「選ばれるまち」を目指します

計画期間

2026(令和8)年度から2029(令和11)年度までの4年間の計画とします。

計画体系

共にめざす都市像 OPEN×PIONEER 2070 YOKOHAMA 明日をひらく都市

「財政ビジョン」を市政運営の土台とし、「行政運営の基本方針」に基づき、
横浜市役所は組織・人材の力を存分に発揮し、市民や団体、企業の皆様と共に、
〈14の政策分野からなる総合的な取組〉と〈横浜の成長・発展に向けた横断的な取組〉により、
「明日をひらく都市」の実現を目指します。

戦略

市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展

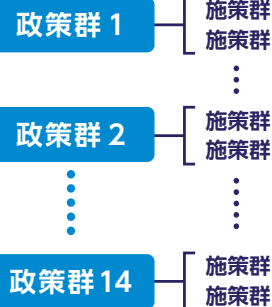
総合的な取組

政策の分野(14の政策群) ——— 33の施策群

毎日の安心・安全	暮らし・コミュニティ
防災・減災	交通
医療・保健	にぎわい・スポーツ・文化
こども・子育て	産業
教育	まちづくり
高齢・長寿	環境との共生
障害児・者	みどり

政策群は、政策分野に関連する取組を
まとめた施策群で構成

- 各施策群は個別分野別計画と連動
- アウトカム※1指標により進捗管理



横断的な取組

テーマに関連する施策群による横断プロジェクト

横浜の成長・発展に向けた「明日をひらく都市プロジェクト」

循環型都市への移行

観光・経済活性化

未来を創るまちづくり

政策・財政・行政が連動し、持続可能な市政運営を更に推進し、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」を両立

市役所の改革「行政運営の基本方針」

～ リ・デザイン※2(市民サービス革新、地域支援の進化、行政事務・組織改革) ～

市政運営の土台「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」

～ 「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」に基づく基本方針とアクション ～

※1 アウトカム：施策・事業の実施により発生する社会的・環境的成果

※2 リ・デザイン：既に存在する仕組みやサービスなどを、新たな目的や状況に合わせて再度設計し直すこと

データ駆動型経営への本格移行

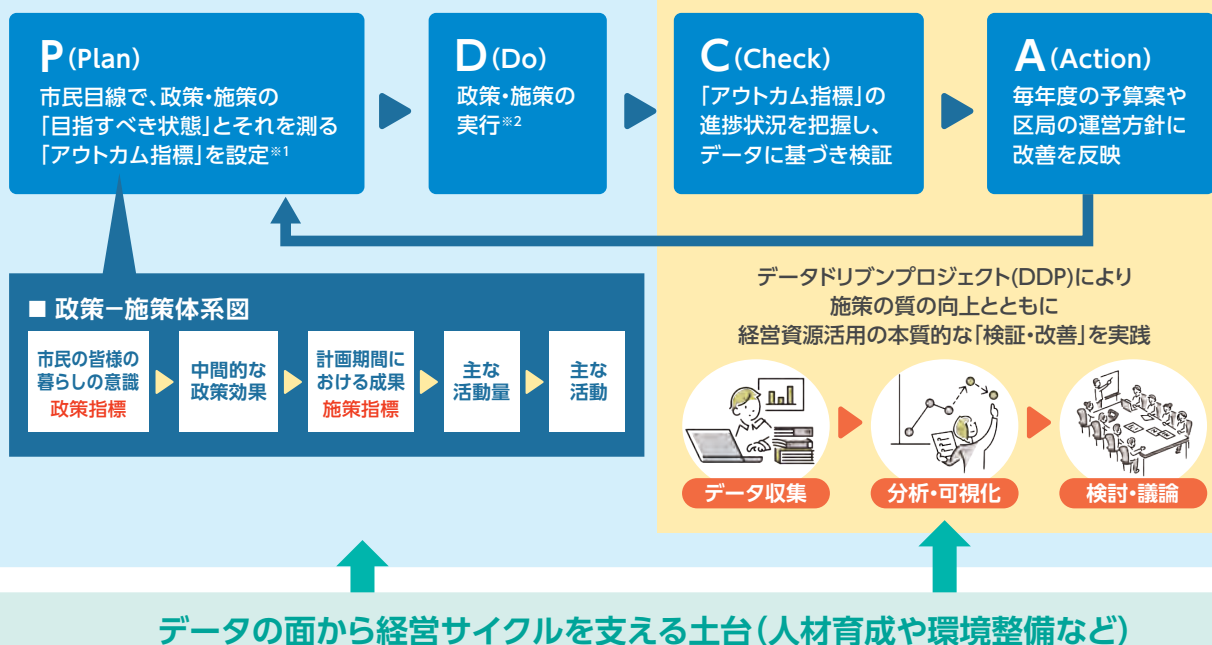
データ駆動型経営へ本格移行し、「政策・施策」の体系(政策・施策体系図)のもと、今後4年間で重点的に進める総合的な取組と、「明日をひらく都市プロジェクト」の横断的な取組を推進し、個別分野別計画等の推進とあわせ、市民生活の向上を目指します。

本計画をもとに進める今後4年間の重点的な取組や個別分野別計画に基づく取組など、横浜市が進める全ての施策や事業について、「市民目線の経営サイクル(PDCA)」のもと、市役所全体でガバナンスとマネジメントを発揮しながら推進します。

横浜市役所が実践するデータ駆動型経営

「市民目線の経営サイクル(PDCA)」の中で、「目指すべき状態」と「アウトカム指標」の進捗状況を適時適切に検証し、改善を図ることで、成果を発現

◆市民目線の経営サイクル



※1 計画策定段階で、市民目線を中心とした最上位の目標から、その実現に向けた中間的な政策効果、中期計画期間における成果までをバックキャストで設定し、可能な限り可視化

※2 最適な手法の選択、協働・共創の推進

こうした経営サイクルの一環として、計画策定時に、政策・施策について、

政策群 に **市民の実感** を測る政策指標

施策群 に **成果発揮** を目指す施策指標

を、それぞれアウトカム指標として設定しました。

なお、こうした指標のほかに、人口(転入超過数、生産年齢人口、出生率)、市内就業者数、市内総生産、市内CO₂排出量をはじめ、本計画での中間的な政策効果などの数値の動きも確認・留意しながら、戦略の推進に生かしていきます。

14の政策群と33の施策群

※政策群・施策群の取組の詳細はこちら



基礎自治体が対応すべき行政分野の取組を、14の政策群・33の施策群にまとめました。

政策群に設定した「市民の実感を測る政策指標」（現状値（令和7年度の実績））の向上等を目指し、施策群の取組を今後4年間で重点的に取り組んでいきます。

政策群

01 毎日の安心・安全



市民実感を測る政策指標

治安の良いまち
だと思いますか

66.8%

インフラ施設が安心・安全に利用できるまち

だと思いますか

78.0%

施策群

01 防犯、歩行者の安心・安全

02 インフラ施設の安全確保

主な取組

先端技術の活用による「暗がり」解消、通学路をはじめとした歩行者が安心して通行できる空間整備、インフラ施設の計画的な保全や長寿命化・更新等

主な指標

【目標値】
●夜間照度（灯りの充足率）【100%】
●防犯カメラの設置率（自治会町内会新規要望充足率）【100%】
●小学校周辺の防犯カメラ機能付き防犯灯設置率【100%】
【目標値】
●通学路でのこどもの交通事故死亡者数【0人】
●路面下空洞調査の完了率（4年間で調査が必要な延長に対する割合）【100%】
●送配水管の更新・耐震化の完了率（送配水管の耐震管率）【39%】

政策群

02 防災・減災



市民実感を測る政策指標

災害に強いまちだと思いますか

45.6%

施策群

03 地震防災対策

04 風水害対策

主な取組

発災時の安全の確保、誰もが安心して避難生活を送ることができる避難所環境の整備、広域防災拠点の整備、浸水対策や河川護岸の整備、崖地の安全対策、多様な手段を活用した避難行動の支援や啓発活動

主な指標

【目標値】
●食料・飲料水備蓄量（地域防災拠点）【避難者3食3日分】
●重点対策地域^{*1}内の地震ブレイカー設置率【80%】
●「浸水リスクが高く早期に整備する地区」の事業着手率【100%】
【目標値】
●トイレ洋式化率（市立小中学校）【100%】
●広域支援部隊の現地司令施設の整備進捗率【100%】
●自宅の災害リスクを知っていると答えた市民の割合（地震・風水害）【75%以上】

政策群

03 医療・保健



市民実感を測る政策指標

安心して適切な医療が受けられるまち
だと思いますか

77.9%

施策群

05 医療・救急・保健

主な取組

地域中核病院及び市大附属2病院・医学部等の再整備等の支援や検討、AI・デジタル技術の積極的な活用、地域完結型医療の推進、総合的ながん対策、生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、歯科口腔保健や食環境づくり

主な指標

【目標値】
●入院医療の市内完結率 急性期【84.5%】
●がん検診の受診者数【700,000人】
●緊急度が高い傷病者に対する救急車等の現場到着平均時間【6分台を維持】
【目標値】
●入院医療の市内完結率 回復期【91%】
●がん精密検査の受診率【90%】
●健康に気を付けていると答えた市民の割合【維持・増加（87.8%以上）】

政策群

04 こども・子育て



市民実感を測る政策指標

子育てしやすいまちだと思いますか

57.0%

施策群

06 子育て支援

07 保育・幼児教育

08 こどもの体験機会づくりと居場所の充実

09 困難な状況にある子ども・家庭への支援

主な取組

一時預かり施策の充実、18歳までの小児医療費助成の無償化、待機児童^{*2}や保育の必要性が高い保留児童^{*3}の解消、年齢に応じた体験機会の充実、学校の長期休業期間中の昼食提供、困難を抱えるこどもやその家族を社会全体で見守り・支える環境づくり

主な指標

【目標値】
●小児医療費助成の対象者数【480,019人】
●待機児童数【0人】
●放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供利用者数【22,000人】
【目標値】
●一時保育・乳幼児一時預かり等の利用実人数【20,000人】
●こどもの体験機会数（スポーツ・文化・農を含む）【14,500回】
●若者の社会参加に向けた支援による改善者数【7,700人（累計）】

政策群

05 教育



市民実感を測る政策指標

教育環境が充実しているまち
だと思いますか

57.4%

施策群

10 教育環境の整備（ソフト・ハード）

11 安心して生活できる学びの環境づくり

12 学力の向上

13 教職員

主な取組

空調設備やエレベータの設置・更新、中学校全員給食の着実な推進等ソフト・ハード両面からの教育環境整備、柔軟で多様な学びの環境づくり、「子ども主体の学び」による資質・能力の着実な育成、先端技術を取り入れた英語教育、教職員の養成・採用・育成・働き方の一体的な改革の推進

主な指標

【目標値】
●エアコン設置率（市立小中学校体育館）【100%】
●学校が安心できる場所だと感じている児童生徒の割合【小6：87%】【中3：87%】
●算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている児童生徒の割合【中3：70%】
【目標値】
●栄養バランスを考えて食事をしている児童生徒の割合【80%】
●中学卒業段階でCEFR^{*4}A1相当以上の生徒の割合【85%】
●月の時間外在校等時間の平均時間【30時間以下に抑制】

※1 重点対策地域：「横浜市内密集市街地における地震火災対策計画」に基づき、延焼危険性が特に高く、重点的に対策を推進する地域

※2 待機児童：国の集計方法に基づき、保留児童から横浜保育室入所者等を除いた児童 ※3 保留児童：保育所等に利用申込をしたが、保育所等を利用できていない児童

※4 CEFR：「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages）」の略称。外国語能力を6段階で評価する国際的な基準

14の政策群と33の施策群

※政策群・施策群の取組の詳細はこちら



政策群 06 高齢・長寿



市民実感を測る政策指標

高齢者にとって暮らしやすいまちだと思いますか

47.1%

施策群 14 高齢者支援

主な取組

地域との協働を基盤とした買い物などの日常生活支援や、ボランティア、就労的活動などの社会参加支援、データ等を活用した健康づくり・介護予防、安心して暮らし続けられる仕組みづくり

主な指標

●介護予防・フレイル ^{*5} 対策等につながる通いの場等に参加した人数	【目標値】 【増加】 102,463人超	●今後(老後)の暮らしについて考えたり、誰かと話したことがある人の割合	【目標値】 【維持・増加】 87.3%以上
●医療専門職の個別的支援(ハイリスクアプローチ ^{*6})により、状態が維持・改善した高齢者の割合	【増加】 74.3%超	●特別養護老人ホームに要介護3以上で入所した人の平均待ち月数	【4か月】

政策群 07 障害児・者



市民実感を測る政策指標

障害児・者にとって暮らしやすいまちだと思いますか

30.9%

施策群 15 障害児・者支援

主な取組

多様な暮らしや就労を支える取組、個々の状況に応じた本人の主体性を獲得する力を引き出し育てていく支援、市内の関係部局や、関係機関等との連携を強化し、乳幼児期・学齢期・青年期・成人期を通じた切れ目のない支援

主な指標

●グループホーム ^{*7} 利用者数	【目標値】 【7,000人】	●医療的ケア児の待機児童数	【目標値】 【0人】
●福祉施設から一般就労への移行者数	【1,200人】	●医療的ケア児・者等支援者養成数(養成研修修了者数累計)	【540人】

政策群 08 暮らし・コミュニティ



市民実感を測る政策指標

お住まいの地域は暮らしやすいまちだと思いますか

79.0%

施策群 16 地域の生活環境 17 学び・交流を支える地域の情報拠点 18 多文化共生 19 困難を抱えた人の支援

主な取組

豊かな住環境の形成、望まない受動喫煙の防止、デジタル手法等の導入による地域活動に参加しやすい環境整備、地域図書館の老朽化対策、図書取次拠点の増設、新たな図書館整備、外国人が地域で活躍できる環境づくり、生活困窮等困難を抱えている人への早期支援

主な指標

●直近1か月で受動喫煙の機会があると答えた市民の割合	【目標値】 【33%以下】	●自治会町内会活動に係る補助金等のオンライン申請率	【目標値】 【70%】
●居住環境に配慮した住宅ストック ^{*8} 数	【2,790件】 (R6-10累計)	●本に触れる機会が増加したと答えた市民の割合	【70%以上】
●地域社会において多様な文化を理解し合うことが重要と考える市民の割合	【維持・増加】 78.4%以上	●自立に向けた支援につながった対象者数	【増加】 7,920人超

政策群 09 交通



市民実感を測る政策指標

鉄道やバスなどの公共交通機関が便利なまちだと思いますか

77.6%

施策群 20 市民の移動手段の確保

主な取組

バスネットワークの維持や交通空白地の解消、地域公共交通への自動運転技術の導入支援、シェアサイクルなど多様で魅力的な移動手段の充実、高速鉄道3号線の延伸など交通ネットワークの強化や渋滞対策

主な指標

●バス運転士数充足率(2024年度の運転士の定員数に対する割合)	【目標値】 【100%】	●市営バス・地下鉄を安心して利用できると答えた市民の割合	【目標値】 【維持・増加】 79.4%以上
●交通空白地の解消(市域面積に対する交通空白地の割合)	【半減】	●シェアサイクル普及率	【2%】
●外出が増加した地区数	【53地区】	●市内の主要渋滞箇所数	【1割減少】

政策群 10 にぎわい・スポーツ・文化



市民実感を測る政策指標

観光やスポーツ・文化により、にぎわい・活力のあるまちだと思いますか

81.0%

施策群 21 観光・MICE^{*9}

22 スポーツ

23 文化芸術

主な取組

戦略的な誘客プロモーション、MICE誘致、夜景を含めた水際線の魅力向上等を通じた戦略的な回遊性向上、クルーズ船誘致、地域に根ざしたスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致開催、身近な地域での文化を通じた地域コミュニティの形成、様々な主体との連携による創造性を生かしたまちづくり

主な指標

●観光消費額	【目標値】 【5,500億円】	●観光入込客数	【目標値】 【4,000万人】
●延べ宿泊者数	【1,100万人泊】	●クルーズ船寄港数	【220回】
●横浜市はスポーツの参加機会や楽しめる環境が充実していると思う市民の割合	【75%以上】	●横浜市は文化の参加機会や楽しめる環境が充実していると思う市民の割合	【75%以上】

政策群 11 産業



市民実感を測る政策指標

経済的な活力があるまちだと思いますか

50.4%

施策群 24 経済成長

25 地域産業

主な取組

サーキュラーエコノミー^{※10}やAI・半導体関連など将来の成長産業における企業集積の促進、革新的な技術を有するスタートアップ^{※11}の創出・成長・立地、中小企業の経営力・生産性向上や循環型経営への転換支援、国内最高レベルの横浜港の物流機能を生かした国際競争力の強化

主な指標

●市内新規投資件数 (サーキュラーエコノミー・AI関連)	【目標値】 【24件】 (4年間累計)	●市内スタートアップ雇用者数 【9,000人】
●中小企業雇用者数 ^{※12}	【870,000人】	●商店街など身近に買い物や飲食ができる場所があると感じる市民の割合 【75%以上】
●支援施策により経営の改善・安定につながった中小企業数	【10,000社】 (4年間累計)	●超大型コンテナ船着岸数 【294隻/年】

政策群 12 まちづくり



市民実感を測る政策指標

魅力的なまちだと思いますか

69.4%

施策群 26 都心部・臨海部のまちづくり

27 郊外部のまちづくり

主な取組

都心臨海部や新横浜都心において、世界を魅了する水際線の形成をはじめとする魅力的な都市空間の形成・活用や回遊性の向上、山下ふ頭の再開発、返還を契機とした新根岸地区におけるまちづくり、郊外部における地域の特色や歴史などの資源を生かした誰もがいきいきと暮らせる住まいづくり・まちづくり

主な指標

●都心臨海部・新横浜都心での来街者滞在時間数	【目標値】 【8.0時間】	●みなとみらい地区の事業所数 【2,110社】
●水際線の来街者数	【1,100万人】	●みなとみらい地区の就業者数 【15.5万人】
●京浜臨海部における産業系の大規模建設投資件数	【22件】 (4年間累計)	●郊外部主要駅における来街者数の対前年変動率 【増加 0%超】

政策群 13 環境との共生



市民実感を測る政策指標

以前より環境に配慮した行動をするようになったと思いますか

71.6%

施策群 28 カーボンニュートラル^{※13}

29 横浜グリーンエクスポ

30 循環型社会に向けた取組

主な取組

様々な主体と連携した「市民の行動変容」「事業者の行動変容」「脱炭素イノベーション」「市役所の率先行動」の推進、横浜グリーンエクスポの開催を通じた地球規模の課題共有と解決につなげる行動変容、再資源化^{※14}の促進、積極的なシェアリングサービスの利用等を通じた横浜らしい循環型都市への移行

主な指標

●脱炭素の取組進捗率 (環境クレジット制度 ^{※15} への参加)	【目標値】 【100%】	●脱炭素の取組進捗率(市役所) 【74%】
●環境にやさしい行動に取り組んでいると答えた市民の割合	【維持・増加 76.2%以上】	●シェアリングエコノミー ^{※16} に参加している と答えた市民の割合 【25%以上】
●企業マッチング等による投入資源削減量 ^{※17}	【8,000t】	●サーキュラーエコノミーに関する事業への参加人数 【61,000人】

政策群 14 みどり



市民実感を測る政策指標

身近な自然環境が充実しているまちだと思いますか

68.8%

施策群 31 公園・動物園

32 都市農業

33 みどりの保全と創出

主な取組

「やさしい公園づくり」や柔軟な運営による公園の一層の活用、プレイパークをはじめとするこどもの体験機会の拡充、3つの動物園の特性を伸ばした体験価値の向上、豊かな農のブランディングによる都市の魅力向上、郊外部に残された樹林地の保全、魅力を実感できる新たなみどり空間の創出

主な指標

●公園等でのこどもの体験機会の創出数	【目標値】 【80箇所】	●市民の動物園に関する満足度 【維持・増加 78.9%以上】
●農に親しむ機会があると答えた市民の割合	【33%以上】	●市内産農畜産物直売所利用者数 【1,540千人】
●よこはまのみどりを魅力的と感じる市民の割合	【維持・増加 76.5%以上】	●都心臨海部の新たな魅力あるみどり空間の創出数 【3箇所】

※5 フレイル：からだところの機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態 ※6 ハイリスクアプローチ：健康リスクが高い対象者に対して、働きかけること
※7 グループホーム：当該項目では、障害のある人が地域の一般的な住居で家庭的な雰囲気のもと、共同生活を行う住まいの場のことをいう
※8 住宅ストック：市内に現存する住宅
※9 MICE：企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)などの総称
※10 サーキュラーエコノミー：シェアや修理、リサイクルなどの取組を通じて資源を循環させ、新たな資源やエネルギーの投入を減少させていく経済モデル
※11 スタートアップ：一般的に「新しい企業であって」、「新しい技術やビジネスモデル(イノベーション)を有し」、「急成長をめざす企業」のことを指す
※12 中小企業雇用者数：法人市民税課税台帳データから、市内中小企業の市内従業者数を抽出して算出
※13 カーボンニュートラル：二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源(事業活動や日常生活)による排出量と、建設資材等の原材料への二酸化炭素の再利用や森林吸収等による除去量とが均衡した、温室効果ガス排出量の実質ゼロを指す
※14 再資源化：ごみとして排出された廃棄物(プラスチック、紙、建設廃棄物など)を、そのまま処分せず、新たな製品の原材料やエネルギー源として再利用できる状態に加工する活動
※15 環境クレジット制度：企業等が温室効果ガス削減量を取引できる制度
※16 シェアリングエコノミー：消費者庁の「あんぜん・あんしんシェアリングエコノミー利用ガイドブック」によると、インターネットを介して個人と個人・企業等との間で活用可能な資産(場所・モノ・スキル等)をシェア(売買・貸し借り等)することで生まれる新しい経済の形
※17 投入資源削減量：焼却や埋立処理していたものを、リユースやリサイクル等により循環させることで、製品に新たに投入する資源を削減した量

明日をひらく都市プロジェクト

「政策 - 施策」の体系のもと、個別分野別計画等の推進も含め、政策群に位置付ける今後4年間で重点的に進めるみどり・農・海等豊かな自然環境など、横浜のポテンシャルや魅力をより高め、横浜の更なる持続的な成長・発展につ

01

循環型都市への移行

～生産・消費・再資源化のあらゆるステージで
循環型都市を目指す「YOKOHAMA CIRCULAR LINK」～

環境・経済の両面から持続可能な都市を実現するため、サーキュラーエコノミー（循環経済）の取組を進めます。サーキュラーエコノミーは、資源やエネルギーの循環利用により環境負荷を減らし、カーボンニュートラルの実現にも貢献します。また、新たなサービスや技術を生み出し、経済の活性化にもつながります。

横浜ならではの都市の特性を生かした「横浜らしいサーキュラーエコノミー」の取組を推進し、持続可能な循環型都市を目指すとともに、この取組を横浜グリーンエクスポ等を通じて世界に発信します。

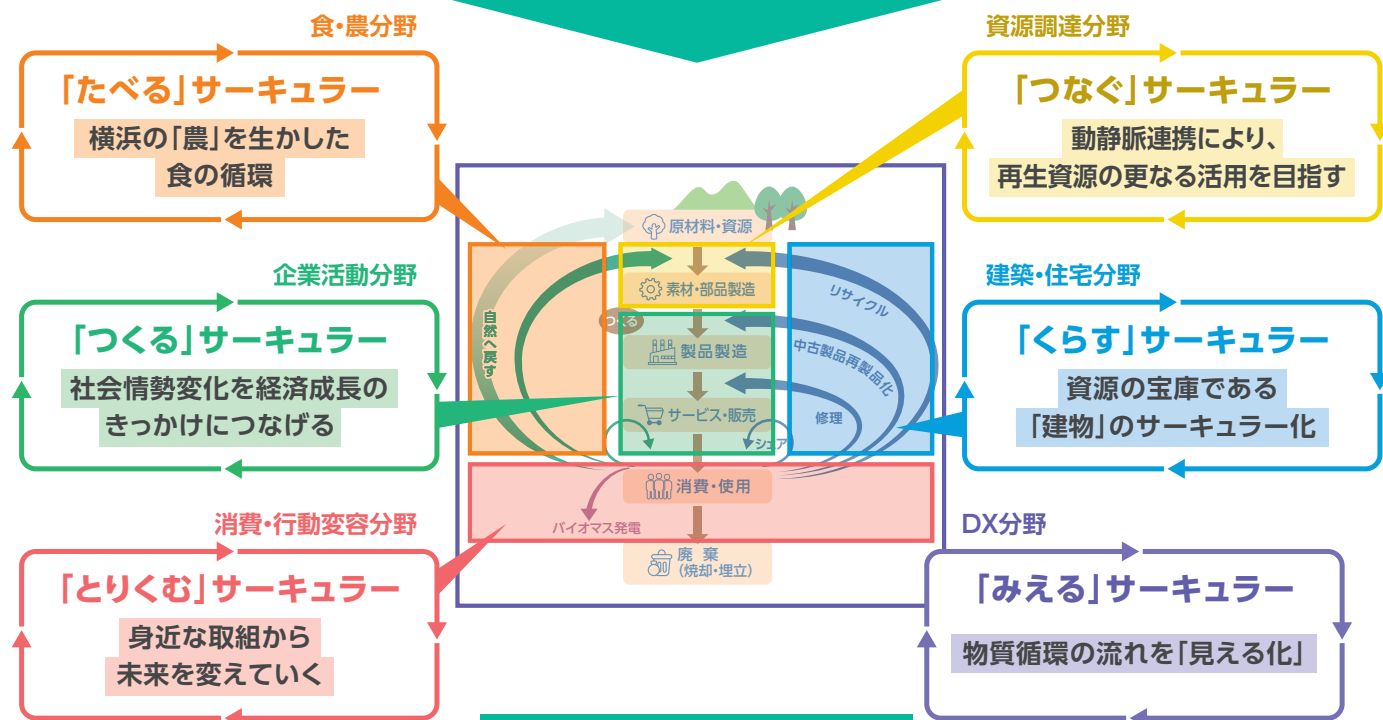
横浜の強み・特性

大規模

多様性

市民意識

「横浜らしい」循環型都市へ



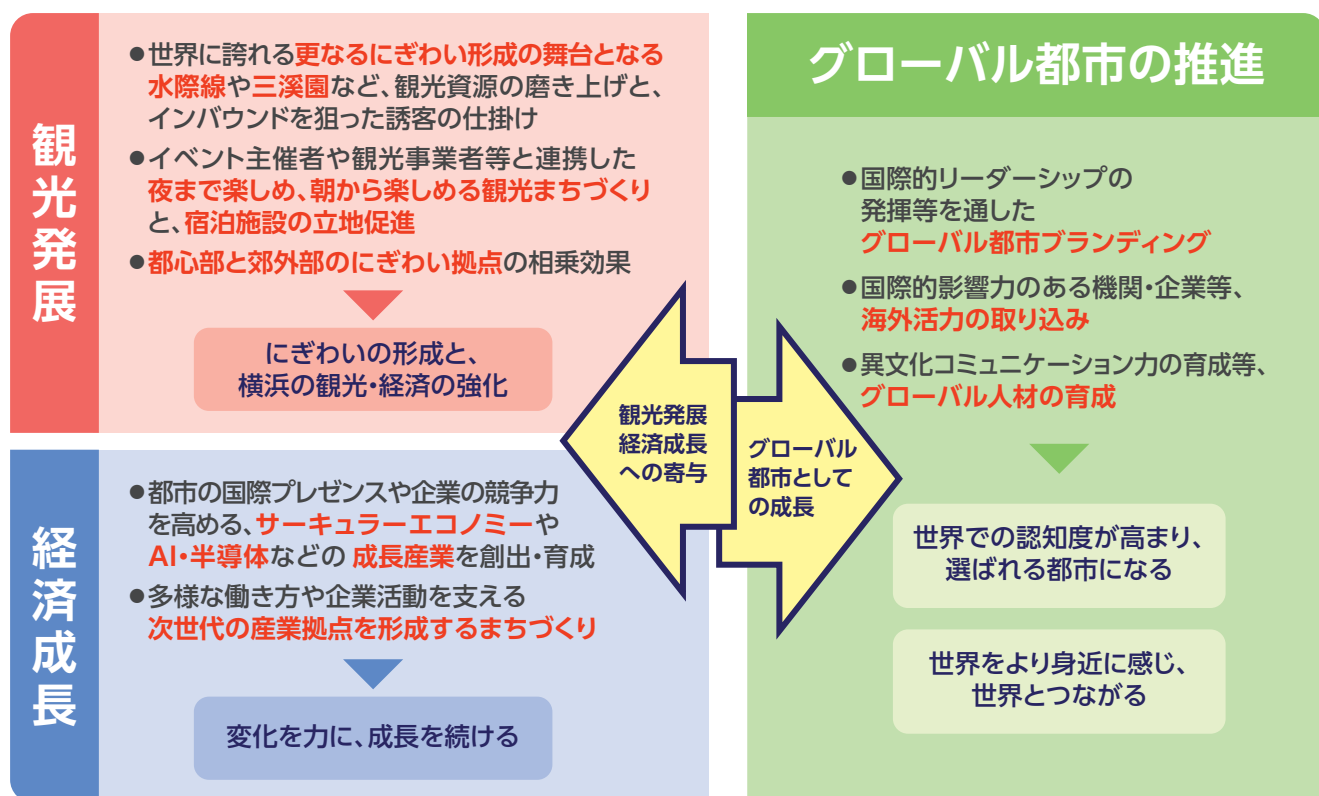
サーキュラーエコノミーが国際的な潮流となっていく中、
これらの取組を広く世界へ発信し、
アジアを代表する循環型都市へ

総合的な取組を市民目線で推進することはもちろん、先人たちが築き、維持・継承してきた都市基盤や経済環境、
ながるテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマで施策横断的に取り組みます。

02 観光・経済活性化 ～にぎわいが経済を育み、世界とつながる横浜へ～

サーキュラーエコノミーやAI・半導体等、最先端技術の進展などの世界潮流を見据えるとともに、世界に誇れる水際線や三溪園をはじめとした、観光都市・横浜を代表する資源を生かして、横浜の観光・経済における強み・ポテンシャルを最大化するとともに、未来に向けた産業創出に取り組み、経済の持続的な成長・発展につなげます。

さらに、積極的に海外活力の取り込み、横浜ブランドの海外への発信を進め、国内外から人や企業が集まる、グローバル都市横浜を目指します。

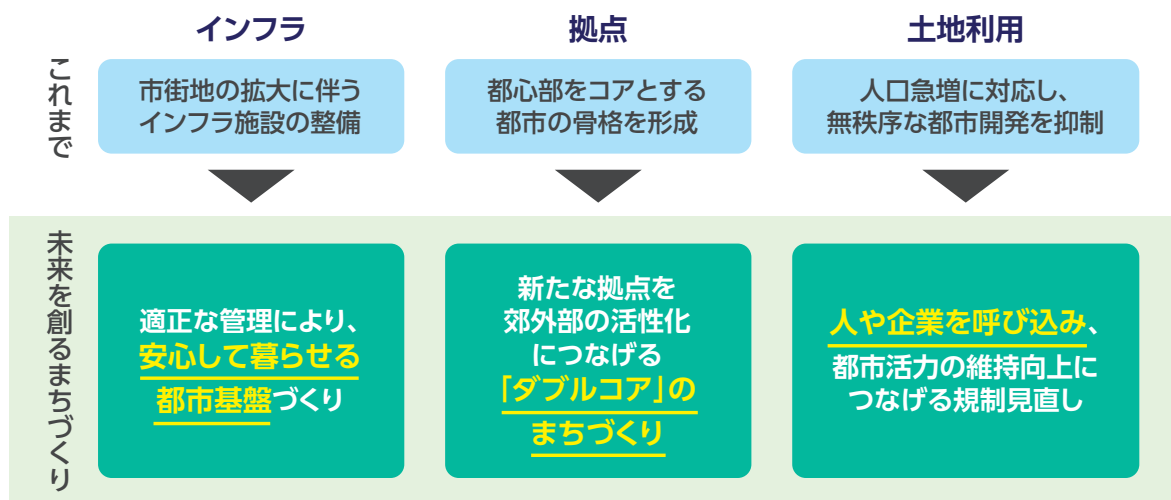


観光発展 + 経済成長 + グローバル都市の推進

3つの取組を連動して進め、市民が世界に誇れる都市へ

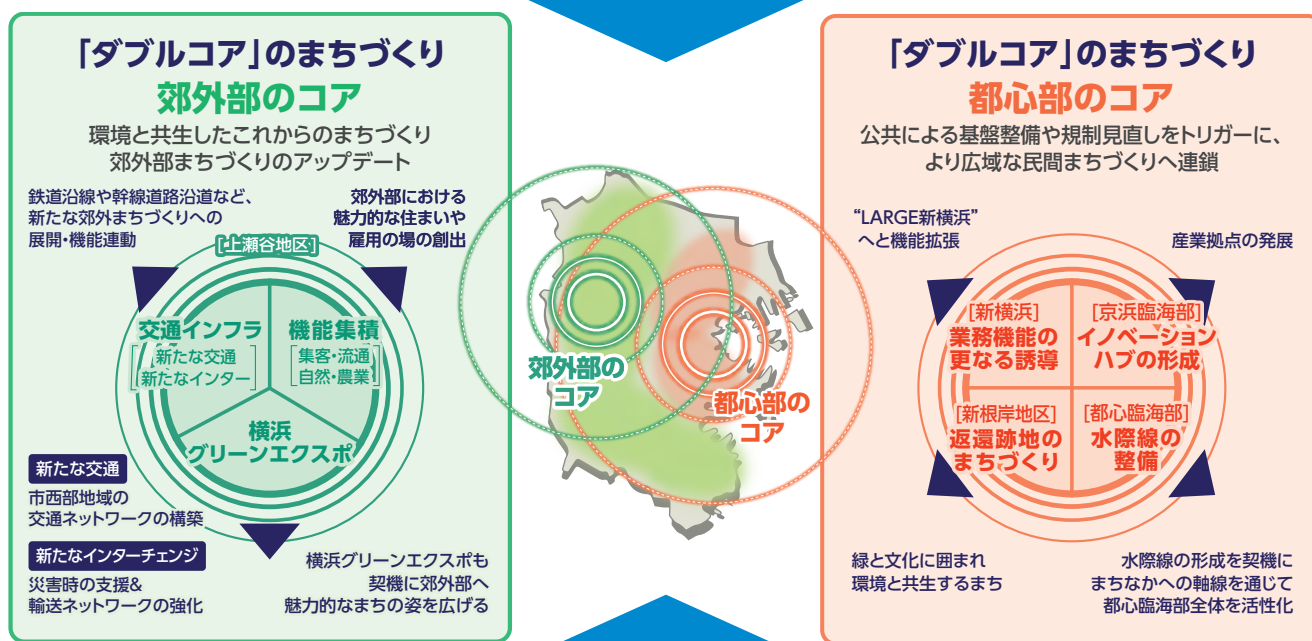
人口減少社会においても持続的に成長・発展する都市を目指して、未来を創るまちづくりを進めます。

従来の都心部だけでなく郊外部にも活性化の拠点を創り、これまで以上に郊外部のまちづくりに力を入れていきます。あわせて、人や企業を呼び込み、都市活力の維持向上につなげる全市的な土地利用規制の見直しや、成長の土台となる市民の皆様の安心・安全な暮らしを守る基盤づくりを進めます。



安心して暮らせるまちづくり

まちの基礎であるインフラ施設（上下水道・道路等）を、着実に維持管理します。
将来の大規模災害にも備え、市民の皆様の安心・安全な暮らしを守ります。



規制見直しを通じた機能誘導

土地利用規制を時代の変化や社会ニーズに合わせて全市的に見直します。
地域ごとの特性に応じた、人や企業を惹きつけ活力ある魅力的な市街地を形成します。

行財政運営

政策分野の総合的な取組や横断的な取組を進めるに当たって、これらを支える土台となる取組です。政策推進・行政運営・財政運営を密接に連動させることで、持続可能な市政運営を更に強化します。

「施策の推進と財政の健全性の維持」を両立させることを目指し、限られた経営資源を最大限に活用しながら、将来にわたって安定した行政サービスを提供できる体制・仕組みを構築し、市民の皆様の信頼に応える持続可能な市政運営を実現します。

1 行政運営

少子高齢化社会の進展や、生成AI等の最新技術の発展など、社会の状況が大きく変化する中で、横浜市では一層、イノベーションを加速していく必要があります。

デジタル技術の活用をはじめとした便利で安心な市民サービスの向上、BPR^{※1}による業務効率化等を目指す行政運営の最適化を両輪として、行政運営を進めていきます。

また、職員が働きがいを実感できる職場をつくるために、戦略的な人材育成の推進や、働き方改革、就業環境の更なる向上等を進め、市役所のチーム力向上につなげます。

01 便利で安心な市民サービス

取組1(1)	「行かない」、「待たない」、「書かない」、「回らない」窓口の実現
取組1(2)	AI活用による市民サービス向上
取組1(3)	地域課題の解決に向けた取組強化
取組1(4)	公民連携で実現する社会課題解決

02 行政運営の最適化

取組2	業務の効率化と生産性向上
取組3(1)	効率的な組織体制の構築
取組3(2)	戦略的な人材育成と働きがいのある職場づくり
取組4	歳出改革の推進

DX
推進

横浜市が推進するDX^{※2}の事例と4年後の姿(ビジョン)

※1 BPR : Business Process Re-engineeringの略称。既存の業務内容や業務フロー、組織構造などを見直し、再構築すること

※2 DX : Digital Transformationの略称。デジタル技術やデータを用いて、社会や生活の形を変えること

2 財政運営

横浜を取り巻く社会経済情勢がかつてないスピードで変化する中、市民の皆様の新たなニーズにも柔軟かつ的確に応えつつ、多様化・複雑化する課題等に対し、常に中長期的な財政運営の展望を持ちながら、持続可能な財政運営を推進する必要があります。

そのため、より効果的・効率的な財政運営を目指し、前例にとらわれることなく施策の質の向上や事業の新陳代謝を積極的に進めるなど、「創造・転換」を理念とする歳出改革に取り組むことで、2029(令和11)年度に実施する2030(令和12)年度予算案の編成で減債基金^{※1}の臨時的活用からの脱却を実現します。

01 市民ニーズに柔軟かつ的確に応え続けるための持続可能な財政運営の推進

取組1	減債基金の臨時的な活用からの脱却に向けた歳出改革の推進 (施策・事務事業の最適化、財源確保等の徹底)
取組2	将来を見据えた税源涵養の取組等の推進 (税財源基盤の強化、ふるさと納税の推進等)
取組3	公平公正な税務行政の推進と市税収入等の確保

02 将来世代に先送りしない適正な債務管理と投資管理

取組1	計画的・戦略的な市債活用と残高管理
取組2	計画的・戦略的な投資管理の推進
取組3	市場から信頼される市債の安定的かつ円滑な発行
取組4	特別会計 ^{※2} ・企業会計の更なる健全化の推進

03 将来を見据えたファシリティマネジメント^{※3}(資産の総合的なマネジメント)の推進

取組1	資産の適正化の推進
取組2	公共施設の適正化の推進
取組3	公共工事における建設業の働き方改革の推進、 適正な発注による品質確保

04 誰もがわかりやすく共感できる財政広報の展開・情報発信

取組1	世代やニーズに応じた、わかりやすく利活用しやすい財政広報の展開
取組2	地方税財政制度の充実に向けた課題提起

※1 減債基金：市が発行した市債の将来の償還(返済)等に備えて、計画的に資金を積み立てるために設置している基金

※2 特別会計：港湾整備事業費、中央卸売市場費、中央と畜場費、市街地開発事業費、自動車駐車場事業費、新墓園事業費、風力発電事業費

※3 ファシリティマネジメント：土地・建物等を経営資源と捉え、価値の最大化と公共施設の機能・サービスの持続的な維持・向上の視点から、保有のあり方・維持管理・利活用を最適化すること

「特別市」の早期法制化の実現に向けて

政令指定都市制度特有の課題を抜本的に解決し、厳しい社会経済情勢においても、将来にわたってより良い行政サービスを市民の皆様提供していくためには、政令指定都市制度に代わる新たな大都市制度「特別市」の実現が必要です。

大都市横浜が抱える主な課題

- 市と県の二重行政
- 不十分な税制上の措置
- 人口減少社会の到来・超高齢化の進行
- 公共施設の老朽化対策

新たな大都市制度「特別市」が課題を解決

- 市のサービス** 国以外の仕事は全て横浜市が担います
- 市の税金** 横浜市の役割・仕事量に見合った公平な税制にします
- 近隣市町村** 県や近隣市町村と協力して行政運営を行います
- 区** 区役所機能・住民自治を強化します



詳しくはこちら

横浜グリーンエクスポ

横浜グリーンエクスポは、瀬谷区・旭区の旧上瀬谷通信施設を舞台に開かれる、世界の花・緑や、環境にやさしい未来をつくる最新技術が集う国際的な博覧会です。気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、「環境と共生する未来のグリーン社会」の在り方を、横浜から世界に向けて発信します。

公式マスコットキャラクター
トウナウトウンク



©Expo 2027

開催概要

- 名称：2027年国際園芸博覧会
- 正式略称：GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
- 開催者：GREEN×EXPO協会(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)
- 開催場所：旧上瀬谷通信施設(瀬谷区・旭区)
- 開催期間：2027年3月19日(金)～9月26日(日)(192日間)
- テーマ：幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
- 博覧会区域：約100ha(会場区域80ha)
- クラス：A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
- 参加者数：1,500万人(有料来場者数：1,000万人以上)

計画の策定経過

- 2025(令和7)年9月10日 「新たな中期計画の基本的方向」公表
- 2025(令和7)年12月3日 素案の公表
- 2026(令和8)年5月13日 原案の公表
- 2026(令和8)年6月5日 策定



横浜市

横浜市中期計画 2026-2029
【概要版】
横浜市政策経営・国際戦略局経営戦略課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL (045) 671-2010
FAX (045) 663-4613



令和8年6月 写真提供：横浜市観光協会(表紙の風景写真)、ピクスタ(人物写真の一部)

本編はこちら



横浜グリーンエキスポにおける「レッツグリーンアクション」及び 「球根ミックス花壇づくり」の募集等について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜グリーンエキスポについて、環境に関するワークショップ等を行う「レッツグリーンアクション」の企画募集及び市内の5会場で同時に球根を植える「球根ミックス花壇づくり」の参加者募集を開始します。また、民間施設や公共施設等で「機運醸成ステッカー」の掲出を開始しますので、お知らせします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 「レッツグリーンアクション」の企画募集について

(1) 概要

環境活動に取り組んでいる又は始めてみたい団体・個人等の皆様から、横浜グリーンエキスポの会場で実施いただく環境に関するワークショップ等を募集します。

(2) 募集する企画例

ワークショップ、体験型展示、園芸教室、創作体験 など

(3) 対象・組数

環境活動に取り組んでいる又は始めてみたい団体、個人、企業、学校等 100 組程度

(4) 募集期間

令和8年7月21日（火）～9月4日（金）

(5) 申込方法

インターネットの応募フォーム

(<https://expo2027yokohama.or.jp/learn-enjoy/letsgreen/>)

(6) お問い合わせ先

「環共」プログラム事務局

〔電話〕 03-6268-8676 ※受付時間：平日・午前9時～午後5時30分

〔メール〕 info@letsgreenaction.expo2027yokohama.or.jp



4 「球根ミックス花壇づくり」の参加者募集について

(1) 概要

市民参加による花壇づくりを通して、市民の皆様とともにつくる横浜市出展を目指します。

ギネス記録に挑戦し、横浜グリーンエキスポの開催に向けた機運醸成を図るため、花壇づくりへの参加者を募集します。

(2) 募集人数

2,100 名

(3) 募集期間

令和8年7月27日（月）～10月9日（金）

(4) 申込方法

詳細はホームページを確認いただき、応募をお願いいたします。

(<https://yokohama-field-greenexpo2027.city.yokohama.lg.jp/event/>)



5 「機運醸成ステッカー」の掲出について

地域や企業の皆様の協力を得ながら、まち全体でエキスポへの期待感や応援ムード、盛り上がりを醸成するため、市民や来街者など多くの方々が訪れる民間施設等に8月頃から順次配付し、掲出いただく予定です。



仕様： 11cm × 11cm 両面シール
製作枚数： 10万枚
掲出期間： 令和8年8月上旬～
横浜グリーンエキスポの終了日
(令和9年9月26日) まで

6 送付資料

- ・「レッツグリーンアクション」募集チラシ
- ・「球根ミックス花壇づくり」募集チラシ

3について

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 藤原、木下
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

4について

みどり環境局戦略企画課
担当 野本
電話 045-671-2032 /FAX 045-550-4093
メール mk-expo-ryokukasai@city.yokohama.lg.jp

5について

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 西尾、雨宮
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

地球と共に「環共」プログラム



公式マスコットキャラクター
トウントウンク

企画募集!

レッツ グリーンアクション

あなたの環境への取組をEXPO来場者につなげよう!

企画募集期間 2026年 7月21日(火)～9月4日(金) 17時まで

ワークショップや体験型展示等を通じて、
来場者に環境に対する"活動"や"想い"を伝え、
横浜グリーンエキスポから環境活動に
取り組む人々の輪を広げる企画を募集します。

エコ
ワークショップ



フィールド
ワーク



ロスフラワー
アート



環境教育
ワークショップ



園芸教室



レッツグリーンアクション

募集概要

募集する企画例

ワークショップ、
体験型展示、
園芸教室、創作体験等

対象

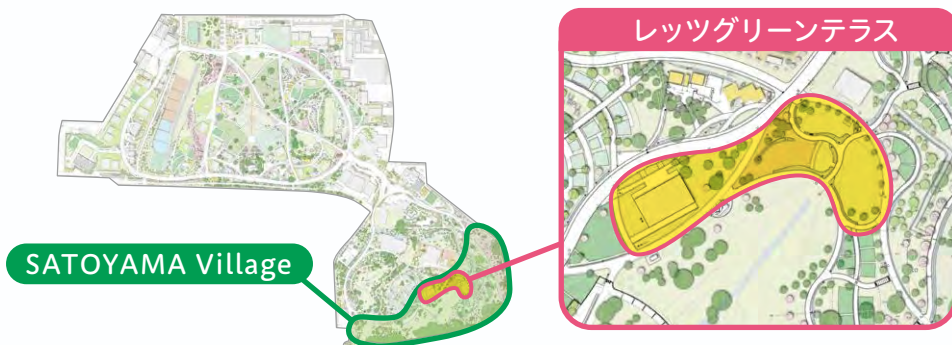
環境活動を行っている又は環境活動を始めたい
団体、個人、企業、学校等
応募組数:100組程度

応募方法

応募フォームからエントリー 詳細はウェブページをご覧ください。
※ウェブページに記載している募集要項等を必ずご確認の上、ご応募ください。

活動する場所

SATOYAMA Village 内「レッツグリーンテラス」



©Expo 2027



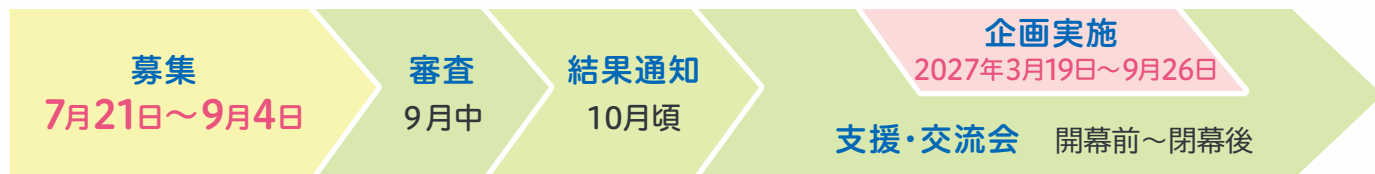
公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

募集説明会

日付	時間	場所
7月28日(火)	19:00～20:00	象の鼻テラス(神奈川県横浜市中区海岸通1丁目)
8月1日(土)	14:00～15:00	神奈川県厚木合同庁舎(神奈川県厚木市水引2丁目3-1)
8月8日(土)	14:00～15:00	品川インターシティホール会議室(東京都港区港南2丁目15-4)

※終了時刻は見込みです。 ※事前の申込みが必要です。詳細はウェブページをご覧ください。
※企画応募にあたっては、募集説明会の参加は必須ではありません。

スケジュール(予定)



詳細・応募はこちらから

レッツグリーンアクション 検索

<https://expo2027yokohama.or.jp/learn-enjoy/letsgreen/>

問合せ先 「環共」プログラム事務局

TEL 03-6268-8676

E-mail info@letsgreenaction.expo2027yokohama.or.jp

受付時間 9:00～17:30(土日、祝日を除く) ※7月13日受付開始予定

2027年国際園芸博覧会

横浜・上瀬谷 2027.3.19 — 9.26

International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027

主催

GREEN×EXPO協会

(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)



OFFICIAL
CHALLENGE



© Expo 2027

GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク



横浜グリーンエキスポ 連携イベント ギネス世界記録®に挑戦！ 球根ミックス花壇づくりで仲間になろう！

挑戦内容

同時に球根を植えた最多人数(複数会場)

本挑戦記録におけるオンラインによる同時中継での挑戦は世界"初"の挑戦記録となる予定です

開催日

2026年
11月14日(土)

募集期間

2026年
7月27日(月)～10月9日(金)まで



←[応募はコチラから]
詳細はホームページをご確認ください

横浜市民活動フィールド



球根ミックス花壇とは？

2017年の全国都市緑化よこはまフェアに合わせ、山下公園で始まった花壇づくりです。現在は市内各所の公園で実践されています。チューリップやスイセン、ムスカリなどの春咲き球根を混ぜて植えることで、開花時期の異なる花が次々に咲き、長く楽しめるのが特徴です。時期ごとに異なる景色を楽しめます。

ギネス世界記録への挑戦内容・参加資格

横浜グリーンエキスポ会場を中心に、横浜公園・新横浜公園・金沢自然公園・反町公園をオンライン中継でつなぎ、一斉に球根を植える人数でギネス世界記録に挑戦します。



参加資格

グリーンエキスポ会場
横浜公園／金沢自然公園／反町公園

小学5年生以上・横浜市内に
在住、在学、在勤の方

新横浜公園

小学5年生以上、
市外からのご参加も可能

いよいよ、「横浜グリーンエキスポ」の開幕が近づいてまいりました。市民の皆様一人ひとりの参加によって作りあげるこのエキスポが、環境への意識や行動を見つめ直すきっかけとなり、心に残り続ける万博となるよう、ともに歩んでいきたいと思ひます。

その大きな一歩となるのが、今回の花壇づくりです。上瀬谷のグリーンエキスポ会場をはじめ、市内5会場をオンラインで結び、一斉に球根を植え、ギネス世界記録に挑戦します。同じ時期に、同じ思いで植えられた球根は、来春、エキスポ会場を彩る花の風景へとつながっていきます。自らの手で万博の景色づくりに関わることのできる、またとない機会です。

ぜひご家族やご友人とともにご参加いただき、この日ならではの特別な体験を共有しながら、「横浜グリーンエキスポ」をともに創り上げてまいりましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



横浜市長 山中 竹春

このチラシに関するお問合せ：横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局
E-mail: mk-yokohama-field@city.yokohama.lg.jp

主催：横浜市、GREEN×EXPO 2027 横浜市出展 横浜市市民活動フィールド実行委員会
共催：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
公益財団法人横浜市スポーツ協会



©EXPO 2027

地球と咲きに行こう。

The Blooming
Field of Planetary
Citizens.



公式マスコットキャラクター
トウクトウク
©Expo 2027



2027年国際園芸博覧会

開催期間：2027年3月19日(金) — 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市

主催：GREEN×EXPO協会
(公益社団法人2027年
国際園芸博覧会協会)



GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

A1クラスの国際園芸博覧会
37年ぶりの日本開催

2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。

地球と。 咲きに行こう。

1000万株の花や緑が彩る、地球旅行へようこそ。

Village出展

- | | |
|----------------------|--------------------|
| A 東急グループ | B KTグループ |
| C NTT東日本 株式会社 | D 株式会社 大林組 |
| E 三菱グループ | F 鹿島建設 株式会社 |
| G 大和ハウスグループ | H 東邦レオ 株式会社 |
| I 竹中グループ | J 住友林業 株式会社 |
| K 相鉄グループ | L 清水建設 株式会社 |

四季折々の花と緑が集い、
豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。
会期初めには、約 40 種 600 本の桜が咲き誇ります。
花緑によるヒーリング体験の中で、地球環境の明日を考える場となります。



© (公財) 日本花の会

6か月の会期のなかで移り変わる花

開幕 閉幕



二十四節気七十二候を意識し、繊細に変化する季節を活かした人の営みを風景として表現します。



テーマ営業出店

- | | |
|-----------------|---------------------|
| M JAグループ | N 株式会社 丸光 |
| O 明治グループ | P ヤマザキバングループ |

テーマ館



日本政府苑



※現時点でのイメージであり、変更となる場合があります。

公式マスコットキャラクターウンクタウンク



前売りチケットが **断然、お得！**

入場チケット 好評販売中！

前売チケット

1日券 大人 4,900円 中人 3,000円 小人 1,400円

会期中販売チケット

1日券 大人 5,500円 中人 3,300円 小人 1,500円

※公式チケットサイト以外でも、旅行会社や販売代理店などでチケットを購入できます。
※来場日時予約は今後開始予定

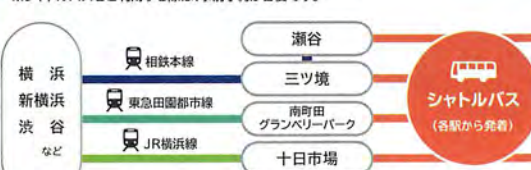


チケットご購入は
公式チケットサイトから

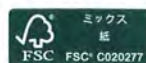
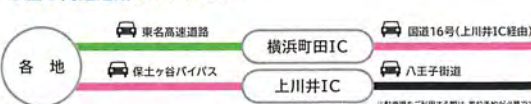
アクセス

●主な公共交通機関でのアクセス

※シャトルバスをご利用する際は、事前予約が必要です。



●主な高速道路でのアクセス



発行 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 (2026年6月発行)

応募期限
11月末まで

おう ぼ
応募で素敵な景品が当たる！

にしく SDGs チャレンジ

クイズ de 挑戦！
地球を救う
30のミッション！



詳しくはホームページやリーフレットでチェックしよう

リーフレット配架場所
区役所、地区センター、
CeeU YOKOHAMA1Fなど



▲HP



▲リーフレット

参加の手順

STEP 1 クイズに挑戦！

● 10問 × 3テーマ(合計30問)のクイズに答えよう！
● テーマ単位でチャレンジできるよ

- テーマA 地球の変化と温暖化
- テーマB 自然・生きもの・資源の大切さ
- テーマC 未来のためにできること (SDGs・暮らしの工夫)

STEP 2 わからないときはヒントを見よう！

動画からヒントを見ることができるよ！
1本3分程度なのでぜひ視聴してみよう

- テーマA
- テーマB
- テーマC

STEP 3 おう ぼ
応募して景品を当てよう！

A賞

THERMOS ボトル
(JOS-551ライトグレー)

5名様

B賞

よこはま動物園・
金沢動物園
ペア入園券

10組20名様

C賞

横浜グリーンエクスポグッズ詰め合わせ
(巾着、シリコンリストバンドなど)

10名様

Wチャンス!!

抽選で外れた方の中から当たるよ！

オリジナルハンドタオル

30名様



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

©Expo 2027

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

公式マスコットキャラクター トウンクトゥン

チャレンジの内容

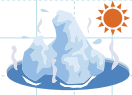
STEP

1 クイズに挑戦！

クイズは10問×3テーマです。

気になるテーマを解くのもよし、全問チャレンジするのもよし！自分のペースでチャレンジしよう。

テーマA 地球の変化と温暖化



気温の変化や天気の変り方など、地球で今おきているさまざまな変化について学べるクイズです。



テーマB 自然・生きもの・資源の大切さ



海や川、陸にすむ生きものや、自然の恵みについて楽しく考えられるクイズです。



テーマC 未来のためにできること (SDGs・暮らしの工夫)



毎日の生活の中でできる工夫や地球にやさしい行動などについて学べるクイズです。



STEP

2 わからない時はヒントを見よう！



テーマごとに3分程度の動画でクイズのヒントを学べます。
分からなかったら見てみてください。



ヒント



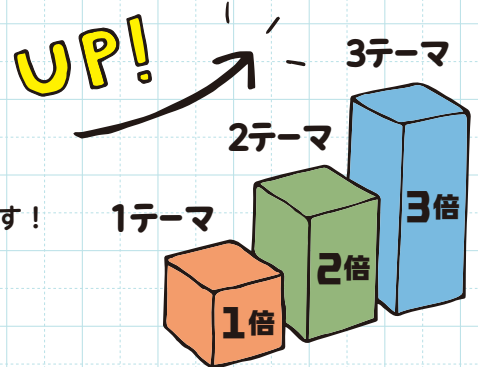
STEP

3 応募して景品をもらおう

アンケートにご回答の上、「二次元コード」またはリーフレットについている「はがき」よりご応募ください。

とうせんかくりつ
当選確率を
上げる方法

1テーマ(10問)解くごとに当選確率が上がります！
たくさんクイズに答えて当選確率を上げよう！



応募方法

右の二次元コード
またはリーフレット付属の
はがきより



応募期限

2026年11月30日(月)

●WEB応募▷ 23:59まで ●はがき応募▷ 当日消印有効

※応募フォームにアンケート項目があります。回答にご協力をお願いします。

注意事項

- 重複応募の場合も当選確率は3倍以上にはなりません。
- 住所不備などにより景品をお届けできなかった場合は当選を無効とし、再配達はいたしません。また送付先は日本国内に限定いたします。
- 応募状況により、抽選で外れた場合、異なる商品が当選する場合があります。
当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお景品発送は2026年12月頃を予定しております。
- 取得した個人情報は「にしくSDGsチャレンジ」の抽選及び景品の発送にのみ使用します。



西区まちづくり アドバイザー派遣事業

 自治会町内会に
講師を無料で派遣します！

～地域で役立つ講座を開催してみませんか？～

自治会・町内会が主催する講座に、専門家や講師を派遣します。

 こんな時にご活用ください

- ・高齢者が参加しやすい催しを企画したい
- ・住民同士の交流のきっかけをつくりたい
- ・地区懇談会で地域を盛り上げるための勉強会を開催したい

講座の例

自治会町内会DX

- ・自治会町内会費をスマホで収集！
- ・自治会町内会のイベントなどスマホを使って情報発信

 現役世代も参加がしやすくなる

町内会の連絡が
スムーズになって
つながりの輪が
広がってきた！

お問い合わせ

西区区政推進課地域力推進担当（西区役所 4階49番窓口）

E-mail : ni-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp

TEL : 045-320-8319 FAX : 045-314-8894

裏面もご覧ください

うちの自治会
でも講演会を
開こう！



みんなで学ぼう！防災講座

- ・身近にできる防災対策や備え
 - ・いざという時の避難のポイント
 - ・参加型で体験しながら学べる実践講座
- 👉 「備えあれば憂いなし」を実感できる！



これから安心して暮らすための お金の話 （やさしい終活講座）

- ・相続・遺言の基礎知識
 - ・エンディングノートの書き方
 - ・トラブルを防ぐポイント
- 👉 難しくない、今のうちに聞いて
よかった！



今からできる空家対策

- ・我が家を空家にしないためには
 - ・空家を放置するとどうなる？
- 👉 一人で悩まず
まずは知ることから



みんなで楽しく！ 認知症予防講座

- ・簡単にできる脳トレや体操
 - ・日常でできる予防のポイント
 - ・参加型で楽しく実践
- 👉 専門の医師が丁寧に質問に答
えてくれます。

まずは、

ご相談ください 🧑🏻

西区区政推進課地域力推進担当
（西区役所4階49番窓口）

E-mail
ni-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp

TEL：045-320-8319

FAX：045-314-8894

第 60 回

西 虫の音を聞く会

第60回記念企画

おと め ぶん らく

「乙女文楽」

日時

令和8年8月22日(土)

17時30分～20時 ※小雨決行

場所

かもん やま

掃部山公園(西区紅葉ヶ丘57)

内容

のだて

野点、琴・尺八の演奏、
模擬店、すず虫の販売 等

※お茶席(140名限定)、すず虫(120かご限定)は
先着順です。定員・予定数に達し次第終了します。

GO GREENシールラリーも開催!

会場内の脱炭素アクションブースを巡って、かわいい
シールを集めよう。(先着 400 名様)



横浜市脱炭素応援
キャラクター「バクバク」

開演 19時15分

に にん さん ば そう

演目 二人三番叟

出演 ひとみ座乙女文楽

イベントの詳細はこちら▶



(問合せ) ふるさと西区推進委員会事務局 (西区役所地域振興課)
TEL 045-320-8339 FAX 045-322-5063

参加無料
申込不要

西区今昔かるた イベント開催！

令和

8年8月8日 土

(出入り自由)

14:00～16:00

場所：藤棚地区センター体育室（西区藤棚町2-198）

参加方法：当日会場にお越しください

持ち物：室内履き、動きやすい服装

「西区今昔かるた」

西区内のスポットの「今」と「昔」の写真を
絵札に使ったかるたです。かるた遊びを通して、
楽しく西区の今昔について知ることができます。



楽しいプログラムが盛りだくさん！

子どもから大人まで、初めての人も
気軽にご参加いただけます！

かるたエクササイズ



かるた遊び



ミニコンサート

音楽体験



かるたガールズがやってくる！

気軽にあそぼう

ヤマハエンタメによる
歌と生演奏を楽しもう

楽しく体を動かそう！
立っても座ってもどちらも楽しめます！

大きな絵札やお手玉を使った
かるた遊びが大人気！

マラカスや
フィンガードラムを体験できるよ！

主催・問合せ先：西区地域振興課
☎045-320-8391(平日9時～17時)

イベント、「西区今昔かるた」の詳細はこちら



西区今昔かるた



第四十回

横浜かもんやま能

西区先行販売



開催概要

日時 令和8年11月28日（土）14時開演（13時開場）

会場 横浜能楽堂（西区紅葉ヶ丘27-2）

内容・能楽師による解説…安藤 貴康

・狂言「鎧」…（大蔵流）茂山 七五三

・能「養老 水波之伝」…（観世流）観世 鍔之丞

先行販売

8月11日（火・祝）正午 から 8月15日（土）まで
※初日はウェブページ、電話のみ

対象

西区内在住、在勤、在学の方

定員

先着 200人

一般販売

8月22日（土）正午 から
※初日はウェブページ、電話のみ

入場料

S席 5,000円 / A席 4,000円 / B席 3,500円

申込方法

横浜能楽堂にてお申込みください。

・ウェブページ（会員登録が必要です）

・お電話（045-263-3055 / 9時～18時）

・ご来館（横浜市西区紅葉ヶ丘27-2）

申込はこちら>>
（横浜能楽堂ウェブページ）



主催：ふるさと西区推進委員会、横浜能楽堂（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

お問合せ：ふるさと西区推進委員会事務局（西区地域振興課内）

電話：045-320-8391

メール：ni-hurusato@city.yokohama.lg.jp

第40回

横浜かもんやま能



能楽師による実技と解説 安藤 貴康

狂言

鎧

(大藏流) 茂山七五三

能

養老

水波之伝

(観世流) 観世鍔之丞

令和8年

11月28日(土)

横浜能楽堂

(掃部山公園内)

午後2時開演(午後1時開場)

入場料

S席 5000円
A席 4000円
B席 3500円

チケット発売

令和8年8月22日(土) 正午より

(初日は電話・WEBのみ)

横浜能楽堂

来館 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

電話 045-263-3055(9:00~18:00)

WEB <https://yokohama-nohgakudou.org/>

LINE友だち先行(WEBのみ)

8月18日(火) 正午~20日(木)

問合せ

ふるさと西区推進委員会事務局

(西区役所地域振興課内)

横浜能楽堂 045-263-3055

主催/ふるさと西区推進委員会

横浜能楽堂(公益財団法人横浜芸術文化振興財団)

後援/横浜能楽連盟

協賛/株崎陽軒・西区商店街組合連合会

(株)アイネット

協力/西区連合町内会・自治会連絡協議会

助成/文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

—独立行政法人日本芸術文化振興会

能「養老」 九世観世鍔之丞 撮影・前島書店

チケット購入は
こちらから
↓



第40回 横浜かもんやま能

令和8年11月28日(土)
午後1時開場 午後2時開演
横浜能楽堂(掃部山公園内)

能楽師による実技と解説

安藤 貴康

狂言「鎧」(大蔵流)

シテ(主人) 茂山七五三
アド(太郎冠者) 茂山千五郎
アド(すっぱ) 茂山 宗彦
後見 茂山 逸平

能「養老」水波之伝(観世流)

シテ(樵翁・山神) 観世鋏之丞
前ツレ(樵夫) 青木 健一
後ツレ(楊柳観音) 観世 淳夫
ワキ(勅使) 宝生 常三
ワキツレ(従者) 野口 能弘
ワキツレ(従者) 小林 克都
笛 藤田 貴寛
小鼓 住駒 充彦
大鼓 柿原 弘和
太鼓 小寺真佐人
後見 清水 寛二
谷本 健吾
地謡 西村 高夫
柴田 稔
馬野 正基
浅見 慈一
長山 桂三
安藤 貴康
小早川泰輝
小早川康充

狂言「鎧」

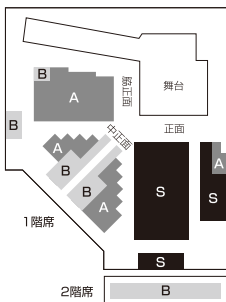
このところ道具比べが流行っているなか、近々「鎧くらべ」があるので、主人は太郎冠者に都に行つて鎧を買ってくるように命じます。鎧がどうい
うものか知らない太郎冠者は、都で声をかけられた男から、鎧について書
かれた物売りつけられ、おまけに「おどす物」の入った桶をもらいます。
屋敷に帰った太郎冠者は、さっそく主人に書物を読んで聞かせますが…。
鎧にまつわる言葉を並べて語る「鎧の語り」が見どころです。

能「養老」

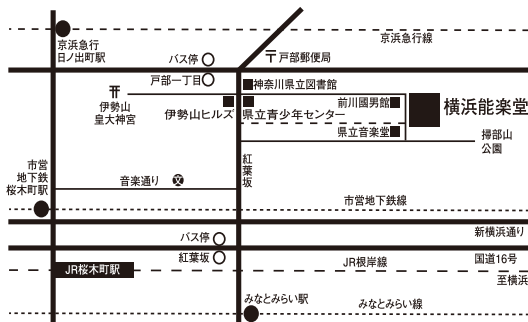
不思議な水の湧き出る泉が美濃郡(現在の岐阜県)にあると聞き、雄略
天皇の勅使が養老の瀧までやってきます。そこで樵の親子に出会い、
不思議な水について尋ねます。すると我等こそがこの養老の瀧を見つ
けた親子であると名乗り、「この水を飲めば元気になり活力が湧いてくる、
不老不死の薬の水である」と告げ、瀧へと案内します。さらに、水のい
われ、奇瑞について述べていると、天より光があふれ、音楽が聞こえ、
花が降り注いできます。
やがて山神と楊柳観音菩薩が現れ、親孝行ゆえに瀧の水が薬の水となり、
養老の瀧となったと舞を舞うと、泰平の御代を讃え帰っていくのでした。

今年で第40回目を迎える「横浜かもんやま能」は、「掃部山公園」の一角に
ある横浜能楽堂内で開催しています。第1回から第13回まで「かもんやま
薪能」として掃部山公園で開催していましたが、横浜能楽堂が開館した後
「横浜かもんやま能」と名称を変更しました。

掃部山公園は、横浜開港の立役者となった、時の大老、井伊掃部頭直弼公
ゆかりの地です。港を一望するように直弼公の銅像が建てられた土地は、
1914年に井伊家より横浜市に寄付されました。現在、この土地は、直弼公の
官職名「掃部頭」にちなんで「掃部山公園」と名付けられ、多くの人に親しま
れています。政治家としても広く知られた直弼公で
すが、文化人としても大きな存在でした。35歳
で彦根藩の藩主になるまでの十数年の間、政治の
表舞台には立たず世捨て人のように暮らしてい
ました。「埋木舎」と自ら名づけた簡素な住まいで、
茶道、歌道、鼓を始め、国学、禅などを熱心に学び、
能・狂言においては自ら作品を書くほどでした。
自身の書いた狂言「鬼ヶ宿」はお抱えの狂言師で
あった九世茂山千五郎正虎に初演させています。



座席番号は、舞台に対し左側の脇正面、
中正面、正面までの通し番号です。
(休館前と一部変更がございます。)



交通のご案内
電車 JR根岸線「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分、市営地下鉄「桜木町」下車南1 出口徒歩12分
みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分、京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分
(タクシー利用は各駅とも約5分)
バス バス停「戸部一丁目」(市営バス: 103、292系統) 下車徒歩5分
バス停「紅葉坂」(市営バス: 8、26、101、105、106系統、神奈中バス: 横43、
港61系統/京急バス: 110系統) 下車徒歩9分
※お客様用の駐車場、駐輪場はございません。お車・二輪車・自転車等でのご来場はご遠慮下さい。
※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。
※客席への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。
※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

横浜能楽堂
YOKOHAMA NOH THEATER

【お問合せ】
〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
TEL: 045-263-3055 (9:00 ~ 18:00)

西区商店街 フォトコンテスト

テーマ

「あなたの一枚で
届ける、
西区商店街の魅力」

西区内商店街の街並みや
笑顔あふれるイベント、
街角で見つけた
心温まる瞬間など、
商店街の魅力を収めた
幅広い写真を募集します。

入賞者には
ホテル食事券
など

豪華賞品
プレゼント!!

詳しくはこちら



令和8年

応募
期間

8.1_土 > 11.30 月まで

応募
資格

西区の商店街に愛着がある方
であれば、どなたでも応募可能。

対象
写真

横浜市西区内の
商店街の魅力を撮影した写真。

※撮影時期は問いません

審査員



写真家
森 日出夫氏

対象
商店街

西区商店街組合連合会に加盟する商店街

- 戸部大通り商店会
- 紅梅通り商店会
- 平沼商進会
- 西区役所通り中央商店街
- 西前中央商店会
- 藤棚一番街協同組合
- 藤棚商店会
- サンモール西横浜商店会
- 久保町ニコニコ商店街

- 横浜駅西口五番街商店会協同組合
- 横浜西口商和会商店街
- 西口幸栄商店会
- 横浜モアーズ
- 横浜ポルタ
- ルミネ横浜
- スカイビル
- MARK IS みなとみらい
- ランドマークプラザ



主催: 西区役所
問合せ先: 西区役所地域振興課
電話 045-320-8386 FAX 045-322-5063
メール ni-chiikishinko@city.yokohama.lg.jp

西区商店街 フォトコンテスト

応募方法

① インターネットの場合

西区役所ウェブサイト内にある
応募フォームからご応募ください。

西区商店街フォトコンテスト

応募フォーム



② 郵送または持参の場合

作品をカラープリント(写真サイズの指定なし)または、
写真データをCD-Rに格納し、応募票に必要事項を記載のうえ、
ご提出ください。(CD-Rは返却しません。)

郵送先

〒220-0051 横浜市西区中央1-5-10
西区役所地域振興課
「西区商店街フォトコンテスト」担当

持参 場所

西区役所4階 47番窓口
受付時間 8:45~17:00(土・日・祝を除く)

結果発表時期・方法

令和9年2月頃に記者発表、
西区役所ウェブサイト等でお知らせします。

※一次選考通過者には1月頃に
電話またはメールにて連絡します。

応募上の注意

- 応募作品は、自作未発表及び今後他のコンテスト等で発表される予定のない作品に限ります。
- 複数作品の応募可(ただし入賞は1人1作品のみとなります)。
- 過去に撮影した写真の応募も可能(原則、原版(デジタルデータ)を有するものに限り)。)
- 変形・合成などの事実を改変する画像加工は不可(軽度の色修正や露出補正は可)。
- 印刷物への活用を踏まえ、800万画素、記録画素数3264px(長辺)×2448px(短辺)以上を推奨(写真のデータ画素数やサイズが極端に小さい場合、無効とさせていただきます場合があります)。
- 人物や店舗等を被写体に含めて撮影する場合は、ご本人・店舗への了解を必ず得てください。また、撮影禁止・立ち入り禁止場所等での撮影は行わないでください。
- 応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情・異議申し立てがあった場合、応募者及び被写体が何らかの被害を被った場合でも、主催者は一切の責任を負いません。
- 写真の著作権は応募者(撮影者)に帰属しますが、主催者は、応募者(撮影者)の許諾を要することなく、無償で無制限に使用(編集、複製、改変、翻案、転載、使用許諾などの使用行為の一切を含みます)できるものとします。
- 横浜市西区役所公式Instagramアカウント「@nishi_yokohama_official」で、応募作品の中から任意で投稿させていただく場合があります。
- 主催者は、応募期間終了後、応募作品を保存する義務を負いません。
- 応募要項に違反していた場合、受賞決定後であっても受賞を取り消す場合があります。
- その他詳細については、応募要項をご確認ください。
- 応募をもって、本フォトコンテストの趣旨に賛同し、応募要項に同意したものとみなします。

審査員賞(森日出夫賞)



最優秀賞

〈1点〉

副賞

ホテルペア食事券



優秀賞

〈1点〉

副賞

みなとみらい回遊
ペアチケット



入賞

〈3点〉

副賞

西区お土産セット



こどもゆうしゅうしょう

〈2点〉

副賞

ギフト券

※応募者が12歳以下の作品から選定

審査員賞



西区商店街組合連合会

会長賞

〈1点〉

副賞

ギフト券



西区長賞

〈1点〉

副賞

西区お土産セット

一般投票



区民賞

〈1点〉

副賞

西区お土産セット

その他、入賞者以外の応募者から、
抽選で20名を当選者として記念品を贈呈します。

入賞者の作品をパネル化し展示するとともに、
西区役所ウェブサイト等に掲載予定です。

また、商店街広報素材等としても広く活用させていただきます。

キリトリ ✂

「西区商店街フォトコンテスト」応募票

ふりがな 氏名	年齢 (12歳以下の 場合のみ)
住所	歳
電話番号	
メールアドレス (利用する場合のみ)	
タイトル	
撮影場所 (またはイベント等) の名前	
一言コメント	

※「タイトル」「撮影場所」「一言コメント」は、二次選考や入賞後の展示、広報等の活用にあたり、明示する場合があります。※作品の裏(プリントしたものに限る)または別紙に必要事項を記入することで、応募票に代えることも可能です。



西

区

ト

コ

パ

ト

参加受付中

愛犬とのお散歩時間をつかって
地域の安心づくりに参加しませんか



活動内容

登録後お渡しする活動グッズ(パトロール章とオリジナルロゴバッジ)を身に着けて、普段のコースをいつも通りお散歩していただく、気軽な防犯パトロールです。

もし不審な人物や車両を見つけた場合は、迷わず110番へ通報してください。(特別な散歩コースを通ったり、危険な箇所近づく必要はありません。)

参加要件

以下の要件に全てあてはまる方。

- ・西区在住の犬の飼い主の方。
- ・横浜市で犬の登録を行い狂犬病予防注射を受けさせている方。
- ・必ずリードを付けフンを持ち帰るなどのマナーを守って散歩している方。
- ・区役所が行うWEBアンケートにご協力いただける方。

申込方法

電子申請システムからお申込みいただくか、登録申請書にご記入の上、西区役所地域振興課窓口(区役所4階)にご提出ください。



(西区トコパトHP)

お問合せ先

西区役所地域振興課(防犯担当)
電話:045-320-8392
メールアドレス:
ni-chiikishinko@city.yokohama.lg.jp

参加無料

大人がはじめる学び方講座

ー学びのきっかけ・気づきから、深め、活かすところまでー

学びたい気持ちはあるけれど、
どこから始めればいいのか迷っていませんか？
「何を」「どうやって」学び、「それをどう活かすか」
理論と実践から考える、全2回の連続講座です。

開催日

令和8年9月19日(土)・26日(土)

時間

10:00～13:00

開催場所

神奈川県立図書館 本館4階 学び⇄交流エリア

定員

30名 (申込多数の場合は抽選) ※2日間参加できる方を優先します

1日目

9月19日(土)

09:30 受付

10:00 開会

<理論編>講義

明治学院大学社会学部 教授 坂口 緑 氏

11:45 情報サイトや相談デスク等の紹介

12:15 「まなびノート」の使い方

12:45 アンケート・諸連絡

13:00 閉会

2日目

9月26日(土)

09:30 受付

10:00 開会

<実践編>講義

こすぎの大学 主宰岡本 克彦 氏

11:45 講師の「まなびノート」を見てみよう！

12:15 「まなびノート」を書いてみよう！

12:45 アンケート・諸連絡

13:00 閉会

詳細・申込方法 ※事前申込制

「e-kanagawa電子申請システム」より、お申込みください。
締切後、お申込み頂いたアドレスに受講の可否を返信します。
※申込方法は電子申請のみとなります。

お申込みと講座の詳細
県立図書館HP >
ホーム > イベント

こちらの二次元コードから
アクセスできます。



申込期間

8月13日(木)～9月2日(水)

お問合せ

神奈川県立図書館 広報・生涯学習推進課 045-263-5916

申込み・詳細は
こちらから！



参加費
無料

第29回大学で学ぼう 生涯学習 フェア

大学での学びで、人生を豊かに

令和8年10月3日(土)・4日(日)

会場

神奈川県立図書館 本館4階
学び⇄交流エリア(アーカイブ配信)

公開講座

10月3日(土) 事前申込制

13:00～14:30 (会場・アーカイブ配信)

1 「英語学習における動機づけ
ー音変化への気づきと活用を通してー」

星槎大学 本 純佳氏

15:00～16:30 (会場・アーカイブ配信)

2 「SNS時代における著作権法」

文教大学 勝久 晴夫氏

🔑 大学の公開講座を体験できます！
※応募者多数の場合は抽選

ライブラリートーク

10月4日(日) 事前申込制

14:00～16:00 (会場・アーカイブ配信)

「神奈川県庁本庁舎の魅力
ー現役で使い続ける重要文化財ー」

一般社団法人神奈川県建築士会

副会長 村島 正章氏

横浜国立大学都市科学部建築学科

教授 大野 敏氏

※応募者多数の場合は抽選

参加大学一覧

参加大学の生涯学習に関する情報を
会場配布・オンライン掲載しています！

和泉短期大学、小田原短期大学、神奈川大学、鎌倉女子大学・
鎌倉女子大学短期大学部、関東学院大学、國學院大学、湘南医療
大学、昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部、星槎大学、鶴見
大学・鶴見大学短期大学部、東京都市大学、東洋英和女学院大
学、日本女子大学、文教大学、放送大学神奈川学習センター
八洲学園大学、横浜国立大学、横浜市立大学、横浜美術大学

主催：かながわ大学生涯学習推進協議会（県内大学と神奈川県教育委員会で構成する協議会）
事務所：神奈川県立図書館 広報・生涯学習推進課

電話：045-263-5916

デザイン：横浜国立大学 秋田幸穂・蓑輪果帆

申込み

申込期間 8月24日(月) 》 9月18日(金)

電子申請

神奈川県生涯学習情報サイト
「学びstyleかながわ」から
電子申請による申込み
(二次元コード上部記載)

往復はがき ※会場参加のみ受付

内容：希望講座名・氏名・ふりがな・郵便番号・
住所・電話番号・参加人数
住所：〒220-8585（住所省略可）
かながわ大学生涯学習推進協議会事務局
（神奈川県立図書館内）

公開講座

10月3日 土

会場定員：各40名
(アーカイブ配信は定員なし)

13:00～14:30 (会場・アーカイブ配信)

1 「英語学習における動機づけ ー音変化への気づきと活用を通してー」

講師：星槎大学 本 純佳氏

本講座では、第二言語習得の視点から、英語学習のプロセスや、学習を続けるための動機づけについてお伝えします。また、英語の聞き取りでつまずきやすい「音変化」に着目し、実際に聞いたり話したりする活動にも取り組みます。英語学習をこれから始めたい方や、英語を聞き取れるようになりたい方におすすめの講座です。英語が苦手な方も大歓迎です。



15:00～16:30 (会場・アーカイブ配信)

2 「SNS時代における著作権法」

講師：文教大学 勝久 晴夫氏

SNSを利用する上で、著作権などの権利が問題となる場合があることはなんとなくは知られているかと思いますが、具体的なことはわからないという方も多いのではないのでしょうか。この講座では、SNSの利用にあたって著作権が問題となる場面を具体例（「生成AIを使って画像を加工したものを投稿していいのか？」など）を用いて説明したいと思います。



ライブラリートーク

10月4日 日

会場定員：各40名
(アーカイブ配信は定員なし)

14:00～16:00 (会場・アーカイブ配信)

「神奈川県庁本庁舎の魅力ー現役で使い続ける重要文化財ー」



講師：一般社団法人
神奈川県建築士会
副会長 村島 正章氏



講師：横浜国立大学
都市科学部建築学科
教授 大野 敏氏

神奈川県庁本庁舎は、現役で使い続けられている県内の官公庁舎の中で唯一の国指定重要文化財です。この本庁舎の保存改修工事に関わられた村島 正章氏に本庁舎の魅力についてお話いただきます。また、歴史的建造物の保存に関して様々な取組をされている大野 敏氏とともに、歴史的建造物の保存・活用に関するトークセッションを行い、今後の神奈川県内の歴史的建造物の在り方や特に紅葉ヶ丘近隣の建造物の魅力についても概観します。

申込み

申込期間 8月24日 月 » 9月18日 金

電子申請 (会場・アーカイブ配信での受講)

表面二次元コードから、「学びstyleかながわ」にアクセスし、
申込みフォーム（神奈川電子申請システム）より、お申込みください。

往復はがき (会場での受講のみ)

①希望講座名②氏名③ふりがな④郵便番号⑤住所⑥電話番号
⑦参加人数（複数人のお申込みの場合は、代表者の情報）を明記のうえ、
〈問合せ・申込み先〉までお送りください。

<問合せ・申込み先>

〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
かながわ大学生涯学習推進協議会事務局
(神奈川県立図書館 広報・生涯学習推進課)
TEL: 045-263-5916

<後援機関名>

神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、朝日新聞横浜
総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横
浜支局、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局
読売新聞横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横
浜総局

YOKOHAMA

令和8年度横浜開港資料館・横浜都市発展記念館特別展

絵図で旅する 幕末の横浜

2026年(令和8年)7月18日(土)~9月27日(日)

会場: 横浜都市発展記念館 企画展示室
〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel. 045-663-2424

開館時間: 午前9時30分~午後5時00分(券売は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日は休館)

観覧料: 一般: 800円 横浜市内在住65歳以上・小中学生: 400円

この料金で横浜都市発展記念館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。
「身体障害者手帳」などをお持ちの方は無料です。入館の際に手帳をご提示ください。
毎週土曜日は小中学生・高校生は無料です。

主催: 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団(横浜開港資料館・横浜都市発展記念館)

共催: 横浜市教育委員会

後援: 朝日新聞横浜総局 / 神奈川新聞社 / 産経新聞社横浜総局 / 東京新聞横浜支局 / 日本経済新聞社横浜支局 / 毎日新聞社横浜支局 / 読売新聞横浜支局 / NHK横浜放送局 / tvk / FMヨコハマ